

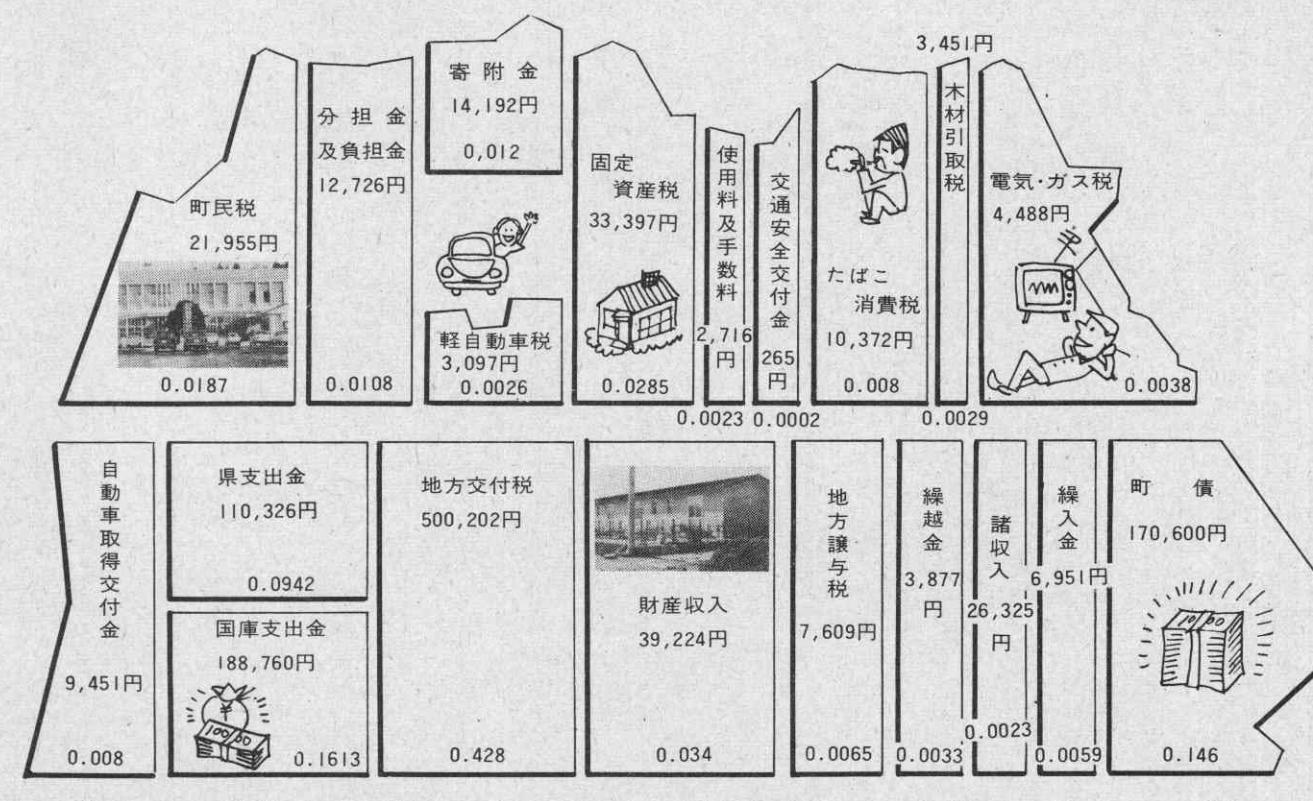




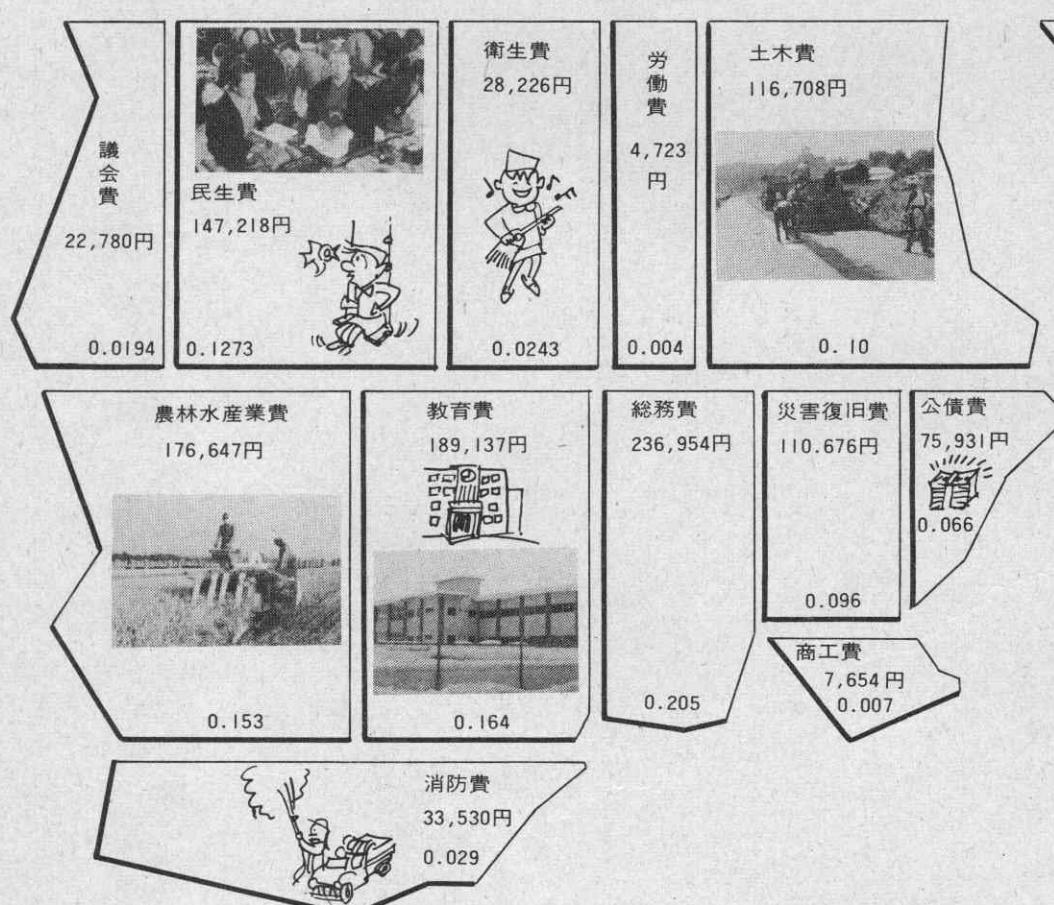
# 目でみる合川町一般会計決算

単位(千円)

❖ 入ってきたお金(歳入)十一億六千九百九十八万二千三百十二円

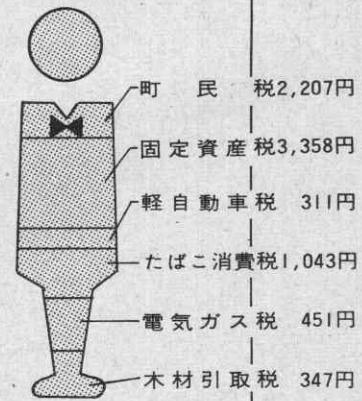
歳  
入↑↓歳  
出

❖ 使われたお金(歳出)十一億五千四百七十一万九千五百八十四円



## 町民の負担は (町税)

一人あたり7,717円



50年成人式の  
お知らせ

一、期日 昭和五十年一月  
二、場所 合川町公民館  
三、対象 昭和二十九年四月二日から昭和三十年四月六日  
までの間に生まれた人

このワラ民芸品を心から愛し、自分の生活の一部として今なお、心をこめて作りあげている人が川井部落の佐藤勘平さんです。佐藤さんがこの仕事を取りくんだのは、もちろん

数年前までは、大変重宝がられていましたが、今は雨ガッパ・ゴム長へと移り変わり、スッカリ私たちの身のまわりから消え去りました。

しかし、古い物への郷愁はいつの時代でも変わらず、今日では生活用品から装飾品としてブームを作っています。

このワラ民芸品を心から愛し、自分の生活の一部として今なお、心をこめて作りあげている人が川井部落の佐藤勘平さんです。佐藤さんがこの仕事を

月一日まで生まれた人

四百字詰原稿用紙五枚以内

応募資格 昭和五十年四月二十七日、合川公民館

人該当者四十九

著のこと。

川井部落 (75)  
佐藤勘平さん

ワラ民芸品と  
ともに歩ゆむ



13

ん生活をしていくためで、百姓のかたわら暇を見つけては作り、鷺巣の市日にいっては売り歩いたといふ。当時、大正四年でワラジ一足八厘でしたよといふ。佐藤さん、だが時の流れにさからることはできず、この仕事も立ち消えとしたがいまのブームに乗る、連日注文が殺到。阿仁部一帯はもちろん、遠くは弘前へも出荷する種「私も若いつもりでいるが、寄る年には勝てる。だが、後継者のいないことが一番の悩みの種」私も若いつもりでいるが、寄る年には勝てる。だが、後継者のいないことが一番の悩みの種「私も若いつもりでいるが、寄る年には勝てる。だが、後継者のいないことが一番の悩みの種」私も若いつもりでいるが、寄る年には勝てる。だが、後継者のいないことが一番の悩みの種

いう。遠くは弘前へも出荷する種「私も若いつもりでいるが、寄る年には勝てる。だが、後継者のいないことが一番の悩みの種」私も若いつもりでいるが、寄る年には勝てる。だが、後継者のいないことが一番の悩みの種

いう。遠くは弘前へも出荷する種「私も若いつもりでいるが、寄る年には勝てる。だが、後継者のいないことが一番の悩みの種」私も若いつもりでいるが、寄る年には勝てる。だが、後継者のいないことが一番の悩みの種

